

福田せいじ ネット通信



陸前高田市訪問・視察

11月14、15日に陸前高田市を訪問

戸羽市長、伊藤議長、及川副議長、山田教育長と面談。なごや子ども市会のメッセージをお渡ししました。戸羽市長は「名古屋市民の皆さんがそれほど想って下さって大変ありがたいです。」と感激されてみえました。面談では子ども市会の話や、熊本地震の際、避難所運営への派遣やライフラインについての話など有意義な懇談となりました。最後は戸羽市長から「万が一、名古屋でなにかあったら、我々はすぐにすっこんでいきます。」との心強いお言葉を頂きました。



左：陸前高田市 戸羽市長

名古屋市から復興支援に来ている職員の方々を激励

震災後、復興のお手伝いに来ている名古屋市職員8名とお会いし、「陸前高田市は人口2万人、名古屋市は230万人の都市。規模の違いを考え比較し、本市で震災があった場合のことを想定しながら、任務の遂行をして頂きます様、お願い致します。」と激励しました。



「いっぼんの松」に込められた想い

2011年3月11日に発生した東日本大地震。作曲家の船村徹氏は、仕事場のある栃木・今市の家で家具が倒れ、大変な思いをした。テレビが岩手・陸前高田の被害を中継するなか、多くの松が倒れ流されたのに、1本の松だけが奇跡的に生き残ったかのようにそびえ立っているのを見て、これを歌に残しておきたいと強く思い、この「いっぼんの松」を作曲したそうです。

その裏には

「平成23年3月11日(金)14時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生した。また、この地震による大津波が東日本の太平洋岸一帯を襲い、ここ陸前高田市も津波による壊滅的な被害を受けられた。

この惨状を知った本会は、貴市の復興・愛着のある故郷の復活を願い、茨城県笠間市・桜川氏などの市民の協力を得て、茨城県産の「稲田みかげ石」にその思いを刻み、ここに送る。平成28年5月吉日」と綴られています。



大磯学区の皆様には本年も大変お世話になり、ありがとうございました。

運動会や交通安全教室などの地域のイベントや、新郊中学校や大磯小学校の行事など、たくさんの行事に楽しく参加させて頂きました。

来年も地域の皆様のお役に立てるよう頑張りますので、今後とも宜しく願い申し上げます。